

中学校社会科における「学力向上に係る効果的事例」

【幸手市教育委員会】

1 「基礎・基本の定着」を図る取組

- (1) 歴史小テストの実施 …歴史の授業において、原則的に全授業時間、前時に学習した内容の確認テストを実施した。学習内容の系統を定着させるためにも有効、且つその小テストをファイリングさせることで、覚える必要のある「重要用語」を整理させるためにも役に立った。
- (2) 単元確認テストの実施 …歴史の授業において、(1)の小テストと同時に「単元確認テスト」を行った。8割を合格の目安として、不合格者には再テストを行った。
- (3) 地名コンテスト …「国名」・「都道府県名」・「地形名」など全学年で実施した。年数回であるが、学年を越えて繰り返し行うことで定着を目指した。合格点を設定し、不合格者には再テストを実施している。
- (4) 年号コンテスト …(3)「地名コンテスト」と同様に実施している。
- (5) 憲法条文コンテスト …(3)「地名コンテスト」と同様に実施。あらかじめ配布した、憲法条文を抜粋した物の中から出題している。
- (6) 歴史年表の作成 …基礎・基本の定着とともに、学んだ知識を表現する技能の育成も図っている。

2 「言語活動の充実」を図る取組

- (1) 授業開始時の「課題解決学習」 …プリント・ワークシートを活用し、授業開始時の約 10 分間、生徒が提示された課題に取り組む授業を意図的に設定した。生徒が自分なりの解答をプリントに記入し、発表することで、授業への主体的参加を促し、表現する力を養うことを目的としている。
課題は予習として前時に与えたり、発表を授業の展開の流れの中で、教師の発問に対する答えとして取り扱ったりと、様々なバリエーションで行うことで、単調化しないように工夫した。
- (2) VTR 教材や新聞記事の活用 …VTR 教材や新聞記事を提示し、感想や意見を発表させた。これらの発表を導入として、授業の展開を行ったり、逆に授業のまとめとして行うこともあった。
- (3) 憲法前文の暗記 …普段使い慣れない表現も含め暗唱することで、憲法を少しでも身近に捉えさせ、定着を図った。

3 「思考力・判断力・表現力」の育成を図る取組

- (1) 歴史新聞の作成 …テーマを決定させ、ある程度自由な形式で新聞を作成させた。
- (2) 世界地図・日本地図の作図 …フリーハンドでもノートに略図が描けるよう、時間を設定し練習をさせた。
- (3) 調べ学習の実施 …レポート形式・新聞形式・パンフレット形式等、様々な形式でまとめ学習を行っている。